

2018年 研修分科会 報告

発表者：

第1回 柏木 綾（学習院大学法学部・経済学部図書センター）

第2回 小林 絵美（獨協大学図書館）

第3回 吉野 晋太郎（神田外語大学附属図書館）

第4回 鶴岡 あかね（駒澤大学図書館）

第5回 大田 隆介（国際基督教大学図書館）

研修分科会について

【会員】 13名 （勤務年数1年が最多）

【活動日】 月1回（第1木曜日）

【時間】 13：00-17：00
夏のツアーのみ 1日

【活動内容】

事前：テーマに沿った事前課題

当日：テーマに沿った講演、グループ討議、会場校の図書館見学

研修目標

- ・現場で活躍できる人材
- ・変化・成長し続けられる人
- ・主体的で能動的な学習者となること

目的意識をもって 主体的かつ論理的に考え

自分の言葉で語り 仲間と交流して

根源を問い続け実践できる人

スケジュール

日付	会場	テーマ
5月31日 (木)	成城大学図書館	大学図書館の可能性
7月5日 (木)	神田外語大学附属図書館	図書館の広報
8月2日 (木)	国立公文書館、国立映画アーカイブ、 アドミュージアム東京	資料の利用・保存とデジタルアーカイブを考える
10月4日 (木)	ICU大学図書館	文献提供サービスを振り返る
11月8日 (木)	駒澤大学図書館	学習支援の観点で電子ブックを考える
12月13日 (木)	立正大学図書館	レファレンスによる現場力アップ

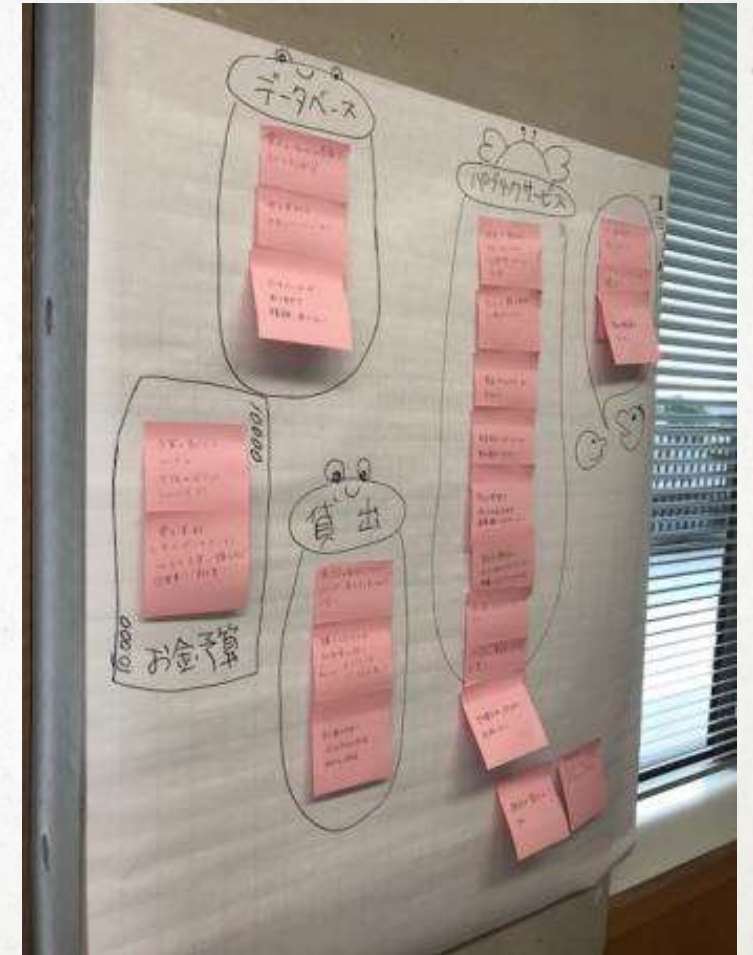
第1回：「大学図書館の可能性」

5月31日 成城大学図書館

【WS】今、大学図書館の課題は？

Aグループ：選書・庶務関連業務

- お金：予算の配分について
- 貸出：利用者への資料の利用促進広報
- データベース：利用促進のための整備
- パブリックサービス：学生ニーズの反映
- コミュニケーション：利用者との接点の減少

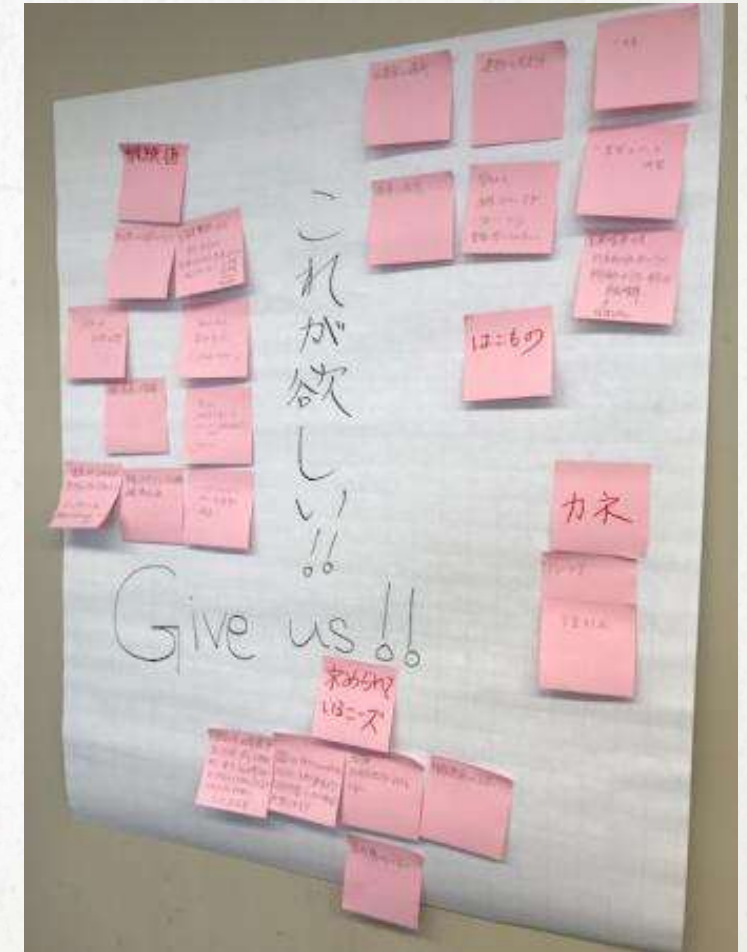


【WS】今、大学図書館の課題は？

Bグループ：整理（目録・発注）業務

これがほしい！！ Give us！！

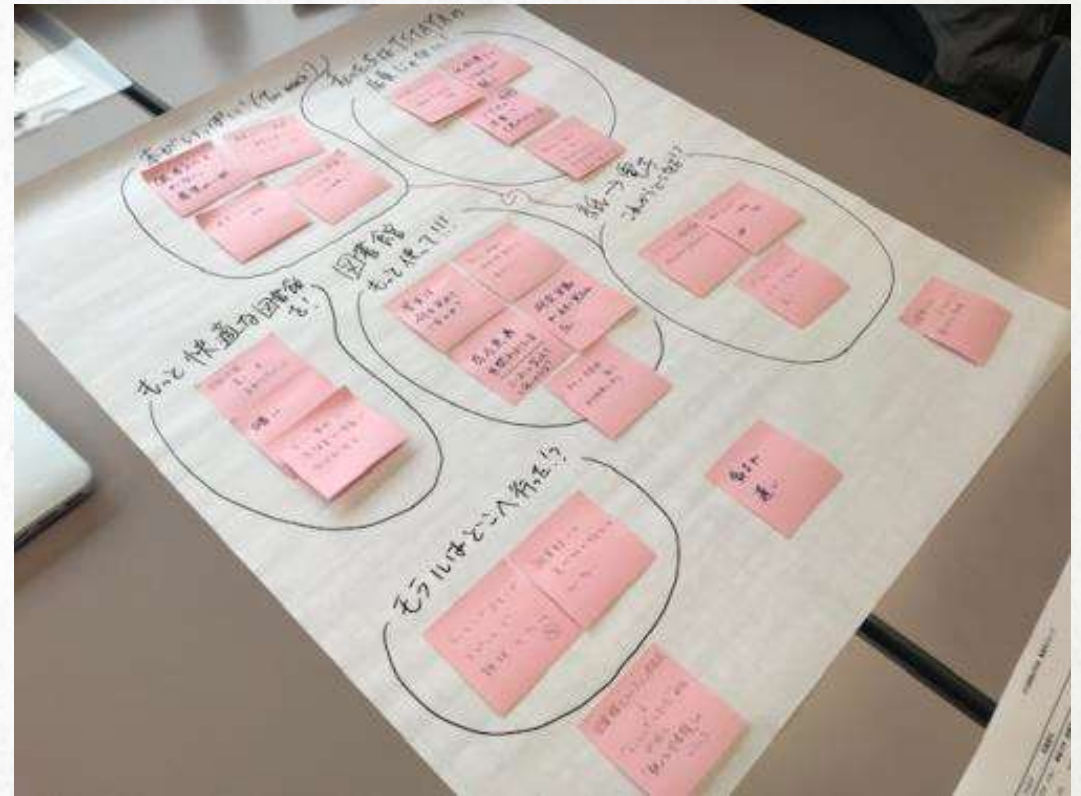
- 経験値：人員不足、業務のアウトソーシングによる職員の経験・知識の不足
- はこもの：書庫狭隘化、建物の老朽化による設備面の不足
- カネ：予算削減による費用の不足
- 求められているニーズ：利用者のニーズがわからない



【WS】今、大学図書館の課題は？

Cグループ：ILL・パブリックサービス

- 本がいっぱい！（Too much!）
- 私たちはTSUTAYA店員じゃない
- もっと快適な図書館を！
- 図書館をもっと使って！！！！
- 紙→電子 これからどうなる！？
- モラルはどこへ行った！？

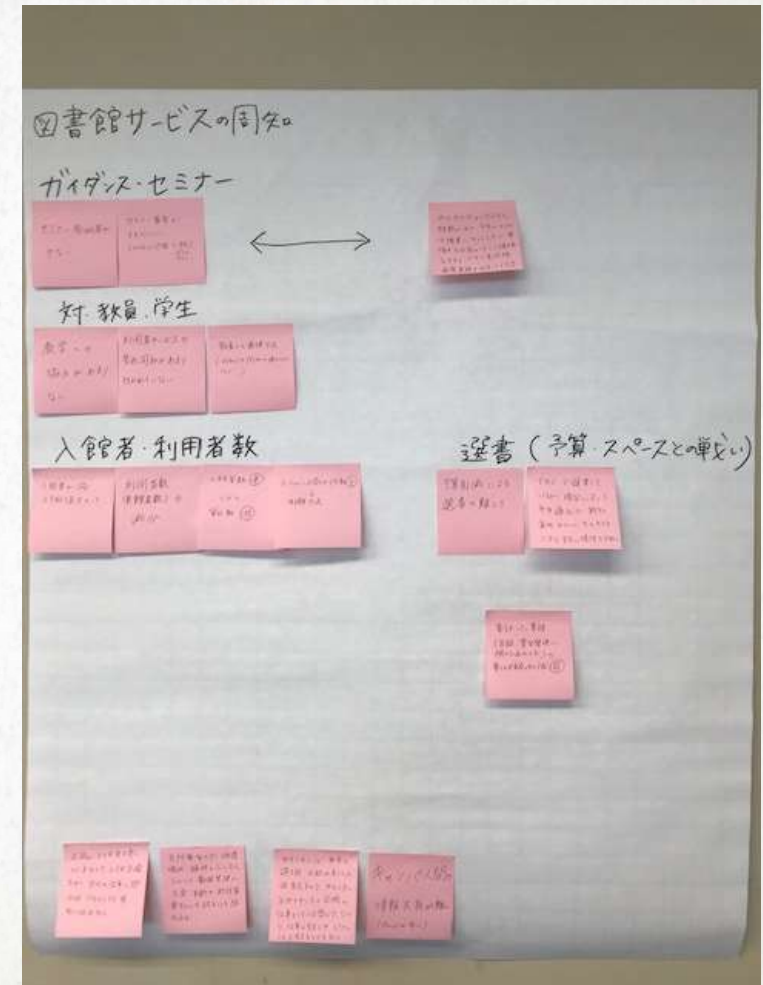


【WS】今、大学図書館の課題は？

Dグループ：閲覧・レファレンスサービス

図書サービスの周知

- ガイダンス・セミナー集客
- 教員との連携・学生のサービス認知度の低さ
- 入館者・利用者数の減少
- 選書（予算・スペースとの戦い）



【講演】「大学図書館の可能性」

立教大学兼任講師（元図書館員） 牛崎 進氏

1. 大学の経営環境…厳しい見通し

内的要因（少子化、大学の数増加、競争）

外的要因（教育の質保証、財政改革、人事政策）

2. 大学図書館をめぐる課題と対策…業務継承・人材育成の難しさ

予算の削減、専任職員の減少、業務委託化

3. 大学図書館の可能性…図書館間の連携

学生の関心事に図書館がどう関わっていけるか

大学のミッション、ビジョンへの意識、マーケット、広報

第一回研修での成果

- WS、講演会聴講による課題の共有
 - …予算獲得（設備、人員面）、利用者減少への対応、潜在的ニーズの掘り起こし、広報の展開、etc.
- 「主体的で能動的な学習者」としての姿勢
 - …今後の分科会参加に際して必須の心構え

第2回：「図書館の広報」

7月5日 神田外語大学



図書館のブランド構築とパブリック・リレーションズ

渡邊 崇氏 (広告制作ディレクター・コピーライター)

- ・学生側 ⇔ 図書館司書 から見た大学図書館
- ・ブランディングとPRの違い
- ・PRを行う際に大切なこと
(誰に、何を、どのように 伝えるか)
- ・ターゲットが「気づく」表現とメッセージが大切
- ・あれもこれも・・・では結果、何も伝わらない
- ・効果的なピクトグラム



●国際規格 (ISO) に合わせることを検討しているピクトグラム

	温泉	キャッシュサービス	案内所	触るな
JIS 規格				
ISO 規格				

●追加を検討しているピクトグラム

海外発行カード対応 ATM	無線 LAN	祈祷室

ユニバーサル・デザインの事例発表

ユニバーサルデザインの 大学図書館での実現に向けて

駒澤大学 図書館 鶴岡あかね



関東学院大学図書館 ユニバーサルデザイン 事例

関東学院大学図書館 堀池美津子 2018年7月5日

『モラリスト×エキスパート』を育む。
立正大学 150th
RISSHO

熊谷図書館 ユニバーサルデザインについて

立正大学 野田 唯志

法政大学図書館における ユニバーサルデザイン

大学全体の概況と学生支援
2018/7/5



法政大学市ヶ谷図書館
安達 圭子

和光大学図書・情報館に おけるユニバーサル・ デザインの事例

和光大学 図書・情報館 五所法子

ユニバーサル・デザインの事例発表

図書館における ユニバーサル・デザイン について

学習院大学 法学部・経済学部図書センター
柏木 綾

ユニバーサルデザイン ～専修大学図書館の現状と課題～

専修大学図書館 平口悠希乃

ICU図書館における ユニヴァーサル・デザイン

国際基督教大学
大田 隆介
2018/7/5

立正大学品川図書館 ユニバーサルデザイン現状&今後！

- 立正大学 品川学術情報センター
- 2018.7.5



居心地のよい図書館の追求

ユニバーサル・デザインがもたらす効果

獨協大学図書館 小林絵美

KUIS図書館における ユニバーサルデザイン考

神田外語大学附属図書館

2018/7/5
吉野晋太郎



2018年7月5日

実践女子大学における ユニバーサルデザインの事例

～渋谷キャンパス～

実践女子大学図書館 寺師香織

神田外語大学見学 ①図書館



神田外語大学見学 ①図書館



神田外語大学見学 ①図書館



神田外語大学見学 ② 7つの言語エリア



神田外語大学見学 ③ 自立学習施設



第3回：「資料の利用・保存とデジタル アーカイブを考える」

8月2日 夏季見学ツアー

2018研修分科会開催案内

第10期 | 第3回 | 2018年8月2日(木) 夏季見学ツアー

テーマ：資料の利用・保存とデジタルアーカイブを考える

集合 9:50 国立公文書館正面入口(時間厳守)・東京メトロ東西線竹橋駅下車(16出口) 徒歩5分

国立公文書館 (竹橋)
10:00-11:30
<http://www.archives.go.jp/>

移動は地下鉄を利用します。
竹橋→有明→京橋

国立映画アーカイブ (京橋)
13:30-15:00
<http://www.nfaj.go.jp/>

移動は地下鉄を利用します。
京橋→有明→新橋

アドミュージアム東京 (新橋)
15:30-17:00
<http://www.admt.jp/>

終了後署名払い！

IAAL

目的：

MLAK 博物館・美術館 (M)、図書館 (L)、文書館 (A)、公民館 (K)における、資料の保存と公開、並びにデジタル化の実際を見学する。

訪問先：

1. 国立公文書館 (竹橋)
2. 国立映画アーカイブ (京橋)
3. アドミュージアム東京 (新橋)

1. 国立公文書館





独立行政法人 国立公文書館

〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2

設立：1971年（昭和46年）

目的

特定歴史公文書等を保存し、及び一般の利用に供すること等の事業を行うことにより、歴史公文書等の適切な保存及び利用を図ること（国立公文書館法第4条）

経緯

- ・明治以来、公文書は各機関で保管していた。
- ・保管期間や方法がバラバラ
→資料の散逸に繋がっていた



所蔵資料：133万冊（平成25年
3月現在）

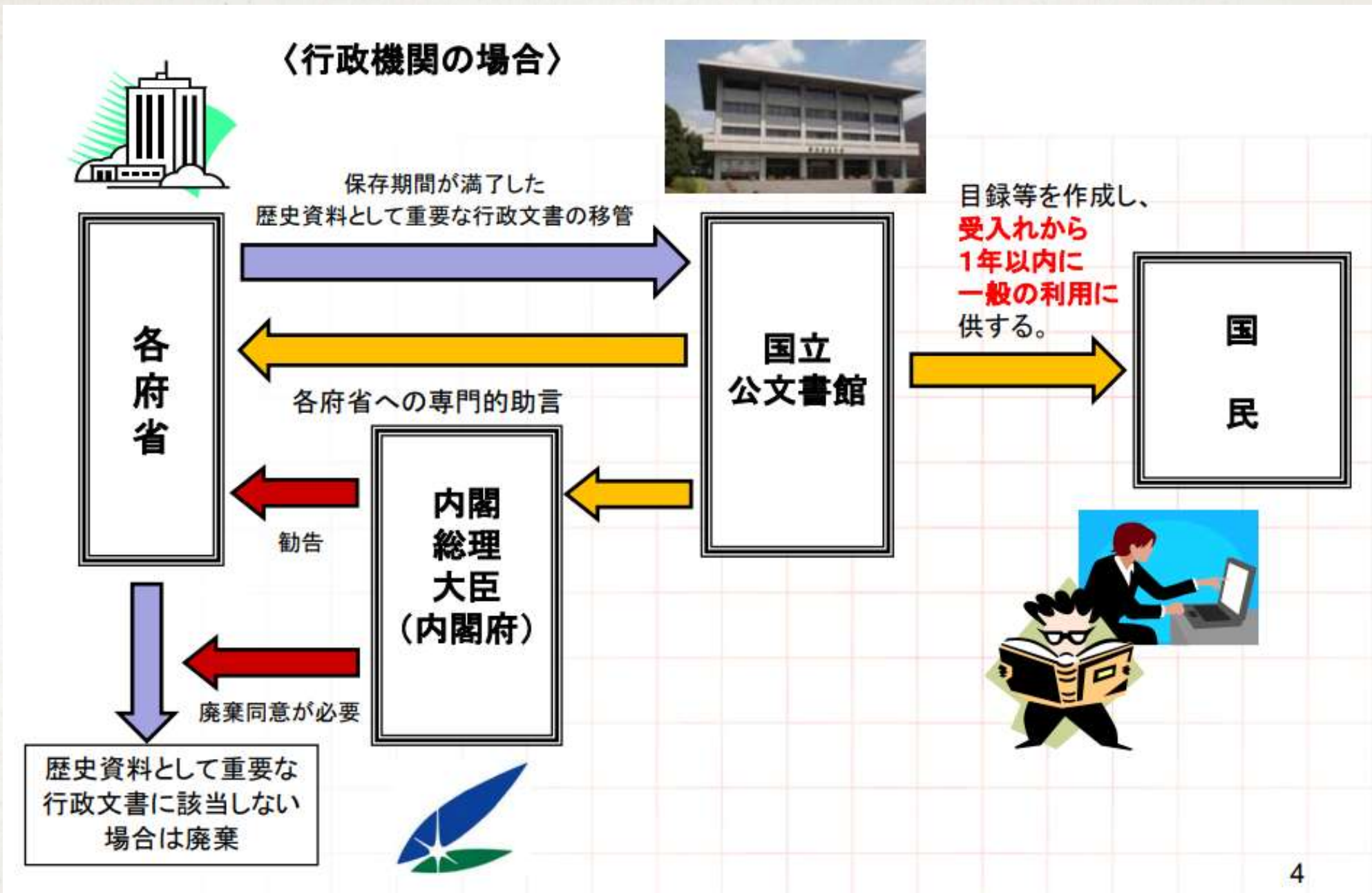
総延長：71,696m（本館：
34,850m）

建 物

地上4階地下2階（4層）

建物面積 11,550m²

書 架 35km





所蔵資料を定温（22℃前後）定湿（55%前後）の 温湿度管理を行った専用書庫で適切に保存。まるでワインセラー。人が通るときだけ電灯が付く。

修復の様子



閲覧室の様子

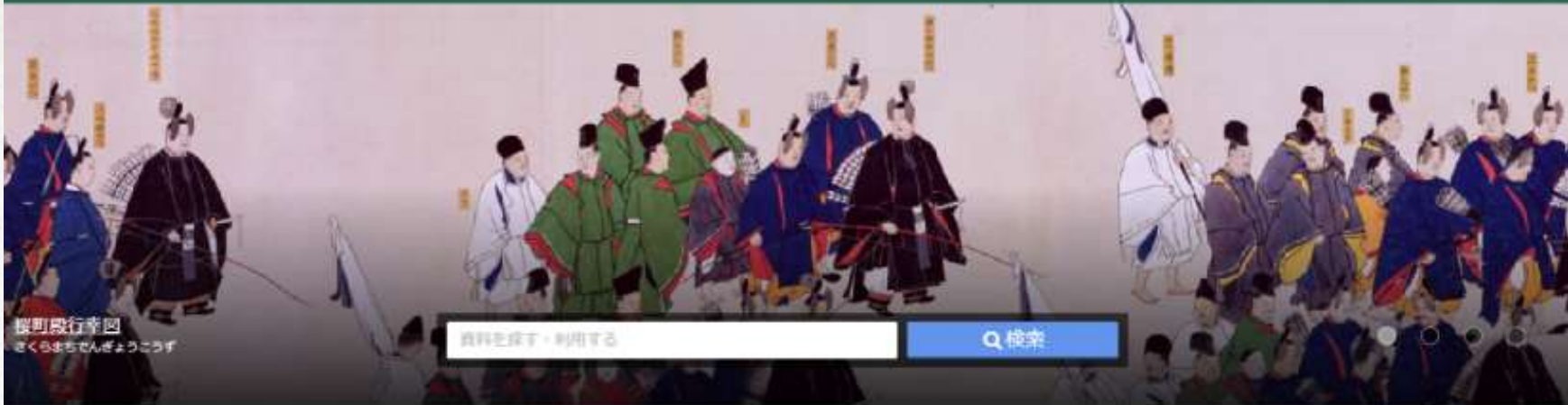


原本が閲覧できます。

デジタルアーカイブ

国立公文書館デジタルアーカイブ
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN DIGITAL ARCHIVE

文字サイズ [標準](#) [拡大](#) Language [日本語](#) [English](#) [国立公文書館へ](#)



横町殿行幸図
せくらのまちでんぎょうこうず

資料を探す・利用する

Q 検索

主な資料を見る



重要文化財 公文書



重要文化財 国絵図等



重要文化財 和書



重要文化財 漢書



資料いろいろ

① ご利用案内

- [初めての方へ](#)
- [ご利用方法](#)
- [よくあるご質問](#)
- [関連資料](#)

Q 資料を探す

- [キーワード検索](#)
- [詳細検索](#)

Q 横断検索



> 常陸国 (元禄)
(ひたちのくに (げんろく))



> 下総国 (元禄)
(しもうさのくに (げんろく))



> 近江国 (元禄)
(おうみのくに (げんろく))



> 山城国 (元禄)
(やましろのくに (げんろく))



> 丹波国 (元禄)
(たんはのくに (げんろく))



> 大和国 (元禄)
(やまとのくに (げんろく))



> 河内国 (元禄)
(かわちのくに (げんろく))



> 和泉国 (元禄)
(いずみのくに (げんろく))

2. 国立映画アーカイブ



〒104-0031

東京都中央区京橋 3-7-6



日本で唯一の国立映画専門機関

2018年6番目の国立美術館として設立、「映画の保存・公開」、「教育」、「国際連携」の3つの拠点・機能を備え、映画文化の振興を図っている。

日本映画・外国映画を問わず、残存フィルムを可能な限り収集。

図書、ポスター、パンフレットも収集している。

国内唯一で70mmフィルムでの上映が可能。

図書室 独自の図書分類表

映画の図書 分類表

0. 書誌・事典・逐次刊行物・叢書・講座	1. 解説、鑑賞・概説、理論・評論、論集・随筆	2. 歴史・各国・伝記	3. 脚本・製作・演出・美術・音楽・演技		
[01] 書誌 [02] 事典 [03] 逐次刊行物 [04] 叢書・講座	[11] 解説、鑑賞 [12] 概説、理論 [13] 評論、論集 [14] 随筆	[21] 歴史 [22] 各国 [23] 伝記	[31] 脚本 [32] 製作・演出 [33] 美術・音楽 [34] 演技		
4. 記録・動画	5. 技術・撮影・音響・映写・建築	6. 産業・社会・営業	7. 政策・規制・社会	8. 教育・社会心理・大衆娯楽	9. 日本映画シナリオ・物語 外国映画シナリオ・物語
[41] 記録 [42] 動画	[51] 技術・撮影 [52] 音響・映写 [53] 建築	[61] 産業 [62] 社会 [63] 営業	[71] 政策 [72] 規制 [73] 社会	[81] 教育 [82] 社会心理 [83] 大衆娯楽	[91] 日本映画シナリオ・物語 [92] 外国映画シナリオ・物語

■国立映画アーカイブでは、辻 恭平氏が映画の図書の特殊性に則して、独自に考案した十進分標法を採用しています。
■実際には、さらに3桁の小分類にわかれています。
詳しくは「事典 映画の図書」(辻 恭平著、創風社、1989年)をご覧ください。



The Masterworks in Posters from the Collection of Toshifumi Makita

世界30か国の黒澤映画ポスター、一堂に会す



国立映画アーカイブ開館記念

展览会

没後20年

旅する黒澤明

榎田寿文ポスター・コレクションより

2018.4.17^(火)-9.23^(日)

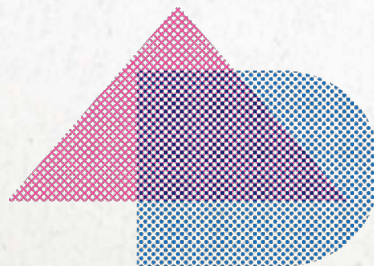
7月3日(90)~12日(91)、7月4日(90)~7日(91) 出社率

国立映画アーカイブ展示室(7階)

[illegible]

3. アドミュージアム東京





アド ミュージアム 東京

開館日 2002年（平成14年）12月1日
 所在地 東京都港区東新橋1-8-2カレッタ汐留
 運営団体 公益財団法人 吉田秀雄記念事業
 財団 <http://www.yhmf.jp/>
 延床面積 1078.3m²

アドミュージアム東京 <http://www.admt.jp>
 広告の社会的・文化的価値への理解を深めてい
 ただく活動を行っています。江戸時代から現代まで
 約30万点を所蔵。
 ライブラリーでは、広告とマーケティング関連書籍の
 閲覧、広告作品のデジタルアーカイブを検索・閲
 覧可能。

江戸時代の看板の実物が展示





岸本水府 Kishimoto Suifu

本名水府 岸本水府



片岡敏郎 Kataoka Toshio

雑誌「ライオン」で人々を驚かせた、
「ライオン」の「ライオン」の先駆者



杉浦非水 Sugiyama Hisui

明治24年、文壇の雄に選ばれる





視聴ブース「4つのきもち」

笑ったり泣いたり、元気をもらったり。
心を動かす広告をご紹介します。

Audio Visual Booth: Four Feelings

Advertising that makes you feel happy, sad, energetic, or emotional.



びっくりする広告
Wow!



考えさせられる広告
Hmmm...



心あたる広告
Love



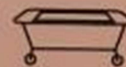
元気がでる広告
Yeah!

コレクションテーブル

江戸時代から現代まで、30万点を超えるアドミュージアム東京のコレクションの中から、おすすめの資料を紹介します。

Collection Table

Here, we introduce recommended materials from the Ad Museum Tokyo's vast collection of over 300,000 advertising items dating from the Edo period through to the modern day.



デジタルコレクション
Digital Collection



アナログコレクション
Analog Collection



第4回： 文献提供サービスを振り返る

「①機関リポジトリを知る」
「②ILLのこれまでとこれから」

10月4日 国際基督教大学図書館

事前課題

自分が所属する機関の文献提供と機関リポジトリの状況を把握する。

→10年前と現在の雑誌の受入種数（タイトル数）、

I L Lの利用件数などを調査し、比較した。

また、機関リポジトリについて、使用しているシステムや利用状況についても調査した。

①機関リポジトリを知る 阿部潤也氏（東京歯科大学）

◆機関リポジトリとは…

大学がその構成員に提供する、大学やその構成員により作成されたデジタル資料を管理し、発信するための一連のサービス

◆機関リポジトリが生み出された背景

雑誌の価格高騰があり、研究者が必要な情報を入手できなくなると同時に、自分で書いた論文を自分で読めないことに。→機関リポジトリを含むオープンアクセスが生まれた。

◆オープンアクセスを実現する手段

- ・ゴールドオープンアクセス…オープンアクセスジャーナルに著者が掲載料を支払う。
読者は無料で論文利用が可能。
- ・グリーンオープンアクセス…筆者等が自らH P や機関リポジトリに論文を公開する。

メリット：基本的に無償使用可能→教育研究成果を利用してもらいやすくなる。

問題点：研究費を圧迫する？掲載数が少ない？

② ILLのこれまでとこれから 講演者 中山昌也氏（横浜国立大学）

◆ I L Lとは…図書館間で行われている相互貸借サービス（現物貸借・文献複写）

◆ 主なILL

○国内→国立情報学研究所のNACSIS-ILL

国立国会図書館の図書館間貸出し・複写サービス など

○海外→OCLCのWorldShare Interlibrary Loan

英国図書館のBLDSS(British Library Document Supply Service) など

◆ 文献複写の利用状況（学術情報基盤実態調査）

文献複写の依頼件数 2006年：1,052,767件→2016年：508,406件

◆ 課題

- ・電子リソースの一元的な管理が出来ていない
- ・依頼件数の減少により、人件費が抑制されている
- ・ILLの認知度が低い

図書館見学

洋書・和書の区別無く
配架されています



自動書庫

来春NHKドラマ放映予定の
松浦武四郎の展示を行いました

第5回：「学習支援の観点で電子ブック を考える」

11月8日 駒澤大学図書館

事前課題：電子ブックに関する以下の論文、事例、本を 読んで当日に臨みました

- 岡本 聖, 入江 伸 慶應義塾大学メディアセンター電子学術書利用実験
プロジェクト報告
- 島田 貴史 慶應義塾大学における電子学術書利用実験プロジェクト最終報告
- 関西大学図書館電子ブック特設ページ
- ドミニク・チェン 『フリーカルチャーをつくるためのガイドブック：クリエイティブ・
コモンズによる創造の循環』

事前課題を踏まえて：気づき、疑問点

▼事前学習からの気づき・問題意識（資料を読んでの気づき）

- “目に見えない”がゆえの認識のズレ…『紙の本の方が電子ブックより安いでしょ？』というユーザーの認識と実態とのズレ、図書館での電子ブックの利用実態と供給サイド出版社・書店の認識のズレなどのギャップがある。

▼疑問点

- 大学図書館が感じている課題と書店が感じている課題にズレはないか？
- “学習支援”の観点から、現状の電子ブックはどこまでニーズに応えられているのか？

書店さんによる講演：紀伊國屋書店、丸善雄松堂

- 電子ブックサービスにおける書店の役割と普及状況
- 会社ごとのサービス提供形態の違い
- 電子ブックのメリット・デメリット…多くの点は既に認知されている事項。その中でも
 - ◎ 音声読み上げ、文字拡大、文字反転機能など、学習支援分野におけるメリット
 - △ “電子”が故にユーザーの目に見えにくい⇒周知・利用促進の施策が必要という課題
- 利用促進施策の事例①…OPAC, Discoveryサービス、シラバス、指定図書、オンライン学習支援ツール（Moodleなど）との連携で授業を通じて教員・学生の認知を上げる
- 利用促進施策の事例②…QRコード付きの栞の配付、本の隣に“E-bookあります！”の紙を挟む、洋書を借りる学生には必ず告知チラシを渡す…など

第5回のまとめ

- 電子ブックはまだまだ過渡期、だが着実に広がりつつある
- とはいえやはり…供給側：仕組みが複雑！ 受け手側：認知度が低い（QRコード等で即時読める状態を提供しないと学生も手を出さない）！
- メリットとデメリット双方
- 大学図書館が感じている課題…電子の“見えなさ”とコスト面
- 認知の向上⇒〔利用増⇒コンテンツの充実〕⇒コスト低下（となるか…？）
- 増えていく資料と配架場所の確保も、どの図書館でも頭の痛い問題。導入し充実させることで、学習支援も含めた問題の解決の糸口に、電子ブックになるはず！

成果

①一人ではない！

②図書館業界について

成果

③最大限の効果・定着



成果

④ 諸先輩方の姿 使命感や情熱

⑤ 足を運んで実際に見る大切さ

⑥ 違いの発見

⑦ 会員同士の交流 → 得難い経験

★ 横のつながり、今後大切に ★

ありがとうございます。



ご清聴ありがとうございました

